



2021年度に向けた

政策要望

2020年8月26日

豊田市議会 市民フォーラム



目 次

1. はじめに -----	1
2. 要望内容一覧 -----	2
3. 2021年度豊田市への要望 -----	3
4. 引き続き注視する項目 -----	16

《参考》

1. 2021年度政策要望に向けての論点整理 ----	17
2. 2020年度政策要望の回答に対する評価 ----	33

政策要望とは

私たち市民フォーラムは「働く者・生活者」の代表である政策集団として、安全・安心はもとより、将来を見据え中長期的な視点で、市民の希望につながる明るい社会・豊田市の発展を目指し、毎年、豊田市長へ要望活動をおこなっています。

政策実現に向けては、要望の回答に対する評価を踏まえ、社会情勢や取り巻く状況を整理し、次年度の要望へと継続的な活動をおこなっています。

また、豊田市だけでは解決できない問題に対し国県議員と連携し、陳情活動など多岐にわたる取組をおこなっています。

政策実現に向けた活動の流れ



1. はじめに

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、今もなお全世界で感染者が増加し、終息の見えない未曾有の危機を引き起こしています。豊田市においても、市民生活・市内経済に多大な影響をもたらし、飲食業を始めとするサービス業は深刻な状況となっています。

多くの産業が集積している豊田市にとって、財政に及ぼす影響は大変大きいことが予想されています。また、法人市民税の一部国税化、特別地方交付税の終了に加え、基幹産業である自動車業界が 100 年に 1 度の大変革期を迎えており、豊田市の税収・雇用・定住・まちの発展において重大な局面に突入したと言えます。

この難局を乗り越えるには、豊田市が一丸となり危機的状況をチャンスに変える意識の変容と実行力が重要です。また、これから進展する過去に経験したことのない人口減少と人生 100 年時代を迎える超高齢社会を見据え、効率的な行政運営につながるスマート自治体への転換と、人口規模に応じた都市のダウンサイジングへの適応が求められます。同時に、昨年のラグビーワールドカップ 2019 のレガシーを生かしながら、世界ラリー選手権や中央リニア新幹線の開通など、さまざまな契機を市内の活性化に波及できる魅力的なまちづくりに取り組むことで、持続可能なまちづくりにつなげなくてはなりません。

過去の歴史からもパンデミック発生後、世界は常に変容を繰り返しています。社会環境の急激な変化に対する先見的な視点と「With コロナ」社会を生き抜く新しい生活様式の構築、そして着々と社会基盤を向上させ、くらしの豊かさを実現する豊田市の行政課題は、市民・労働者の代表である私たち市民フォーラムの課題として捉えています。

このような視点を考慮しつつ、引き続き安全・安心で持続可能なまちづくりの実現に向け、議論に議論を重ね 24 のカテゴリで 31 項目を 2021 年度の要望とさせていただきます。

2. 要望内容一覧

①安心して暮らせるまちづくり

- ・ 特殊詐欺被害の未然防止 P 3
- ・ 生活道路における歩行者の安全確保 P 3
- ・ 感染症を踏まえた避難所の整備 P 4
- ・ 避難所外避難に対する整備 P 4
- ・ 消防団員確保に向けた取組 P 4

②学び・育むまちづくり

- ・ 不育症治療への支援 P 5
- ・ 養育費保証の支援 P 5
- ・ 虐待相談体制の強化 P 6
- ・ 会計年度任用職員保育師の勤務形態拡大 P 6
- ・ 不登校児童・生徒の居場所の拡大 P 7
- ・ 別室登校児童・生徒の教室復帰支援 P 7
- ・ オンライン授業に向けた整備推進 P 7
- ・ 職員の多忙化解消とメンタルヘルス対策強化 P 7

③くらしを支えるまちづくり

- ・ 財政状況に合わせた施策の推進 P 8
- ・ 国県補助金事業の積極的な活用 P 8
- ・ 公契約条例の制定 P 8
- ・ I Tを活用した生産性向上支援 P 9
- ・ テレワークの導入促進 P 9
- ・ 空き家を活用した定住促進 P 1 0
- ・ 社会経済情勢を反映した道路整備の推進 P 1 0

④共に支えあうまちづくり

- ・ (仮称) 人生 100 年時代構想の計画策定 P 1 1
- ・ (仮称) 豊田市感染症予防計画の作成と周知 P 1 1
- ・ 介護業務の負担軽減 P 1 2
- ・ 障がい者の社会参加支援 P 1 2


⑤魅力を共感するまちづくり

- ・ 中心市街地の新たな魅力創出 P 1 3
- ・ 観光型 MaaS への取組 P 1 3
- ・ とよた SDGs の市民への情報発信 P 1 4
- ・ とよたエコフルタウンの機能強化 P 1 4
- ・ ゼロカーボン達成に向けた行動計画の実践 P 1 4
- ・ 先端技術を活用した事務事業の効率化 P 1 5
- ・ 5G 環境の積極的な活用 P 1 5



3. 2021年度豊田市への要望

【安心して暮らせるまちづくり】




要望内容	犯罪から市民を守る取組
------	--------------------

具体的内容	①特殊詐欺被害の未然防止
取り上げた理由 	<p>近年、高齢者を狙った特殊詐欺が多発しており、豊田・足助警察署管内でも被害が増加している。現状は被害に遭わないよう注意喚起を実施しているが、いざという時に対応できないことも考えられるため、被害の未然防止となる取組が求められる。</p> <p>①高齢者を狙った特殊詐欺の被害が後を絶たないことから、訪問による啓発を継続するとともに、自動通話録音機の購入補助など効果的な対策を検証し、詐欺被害防止につなげることが必要である。</p>

要望内容	安全な交通環境の整備
------	-------------------



具体的内容	①生活道路における歩行者の安全確保
取り上げた理由  	<p>歩行者・自転車利用者に係る人身事故の発生割合が高い生活道路では、通過車両や速度の抑制などの整備を推進し、子どもや高齢者が安心して通行できる道路空間の確保が求められる。</p> <p>①生活道路での歩行空間を確保するため、地域との合意形成によるゾーン30の拡大やイメージハンプの路面標示整備など、安全対策を推進する必要がある。</p>

要望内容	災害に強いまちづくり
------	------------



具体的内容	<p>①感染症を踏まえた避難所の整備</p> <p>②避難所外避難に対する整備</p> <p>③消防団員確保に向けた取組</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="172 629 312 763"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="172 775 312 909"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div data-bbox="172 920 312 1055"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div>	<p>感染症に配慮した避難所運営や消防団員の不足など、全国各地で発生した大規模自然災害における課題を多角的視点から検証をおこない、今後発生し得る大規模災害に備えることが重要である。自助・共助・公助の考えのもと市民一体となって災害対応力強化につなげることが求められる。</p> <p>①災害の危険度や避難所の規模など、地域の実情に沿った自主避難場所の運営と備品の整備に向けた支援を通じ、withコロナを前提とした災害対応を推進する必要がある。</p> <p>②避難形態の多様化に対応するため、避難所外避難者に対する安否確認や情報発信への整備推進、また食料や物資の提供が円滑におこなえるためのしくみ構築が必要である。</p> <p>③消防団との共働のもと、効率的な消防活動やイベント等のあり方を精査することで活動のしやすさを図り、消防団員の加入促進につなげることが必要である。</p>

【学び・育むまちづくり】



要望内容	少子化対策への取組
------	-----------

具体的内容	①不妊症治療への支援
取り上げた理由  	<p>少子化社会の対策を講じるなかにおいて、妊娠・出産に対する不安を解消することが重要であり、子どもを安心して産めるよう、本人に寄り添った取組が求められる。</p> <p>①不妊症の方が出産をあきらめることがないよう、現在本市で実施している不妊症治療費助成に加え、不妊症治療費助成もおこない、経済的負担を軽減することが必要である。</p>


要望内容	ひとり親世帯への支援の取組
------	---------------

具体的内容	①養育費保証の支援
取り上げた理由  	<p>ひとり親世帯の生活困窮の要因である養育費の不払いが社会問題となっているなか、子どもが経済的な不利益を被ることなく、社会人として自立するまでの生活を保証する支援が求められる。</p> <p>①養育費の立替えなどをおこなう民間の養育費保証サービスを利用しやすくするため、その契約等に係る費用の補助をおこなうなど経済的な支援が必要である。</p>



要望内容	子どもを虐待から守る取組
------	---------------------

具体的内容	①虐待相談体制の強化
取り上げた理由  	<p>虐待通報における情報集約の強化により、これまで集約できなかった虐待を把握できるようになったことで通報件数が急激に増加しているが、その状況下においても虐待の重度化を防ぐために、一つひとつの事象に対して丁寧かつ迅速な対応ができる体制の強化が求められる。</p> <p>①増加している虐待通報件数に対して、確実に対応できるよう育児支援専門員の増員による適正配置をすすめるとともに、離職防止に向けた処遇改善の取組が必要である。</p>




要望内容	保育環境の向上
------	----------------

具体的内容	①会計年度任用職員保育師の勤務形態拡大
取り上げた理由 	<p>保育の質を確保し、保育師が子どもと向き合える環境をつくるためには、保育師の負担を軽減させ保育師業務を支援するしくみづくりが求められる。</p> <p>①正規保育師のサポート業務をおこなう会計年度任用職員保育師の勤務形態の種類を拡大することで、多様な働き方を提案し、登録者の増加につなげるなど正規保育師の負担軽減を更にすすめる必要がある。</p>

要望内容	不登校児童・生徒への支援強化
------	-----------------------




具体的内容	<p>①不登校児童・生徒の居場所の拡大</p> <p>②別室登校児童・生徒の教室復帰支援</p>
<p>取り上げた理由</p> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>全国的に不登校の児童・生徒の出現率が増えており、本市も同様に上昇している。不登校状態が長期化するほど支援が難しくなるため、早期発見・早期対策の取組が急がれる。</p> <p>①復学に向けた居場所づくりに向け、パルクとよたのサテライト教室の開設など、子どもの居場所の拡大による支援体制の強化を図る必要がある。</p> <p>②登校しても教室に入れな別室登校の児童・生徒に対して、専門知識を有する人材による教室復帰に向けた支援など、具体的な施策の立案・実行をする必要がある。</p>

要望内容	教育環境の整備
------	----------------



具体的内容	<p>①オンライン授業に向けた整備推進</p> <p>②教員の多忙化解消とメンタルヘルス対策強化</p>
<p>取り上げた理由</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>新型コロナウイルス感染症拡大にともなう臨時休校によって、児童生徒の学習の遅れや学校再開後の教員の多忙化など、多大な影響を受けている。学校教育に関する今後の緊急対応の強化と同時に、今回の課題を契機にした通常時における児童・生徒への有効的な教育環境の整備が求められる。</p> <p>①オンライン授業の整備を進めることで、緊急時の休校に備えることに加え、通常時における家庭での復習、また学校にいられない児童生徒の学習支援として活用できるしくみづくりを図る必要がある。</p> <p>②改正教育職員給与特別措置法で示された時間外勤務時間の上限 45 時間 / 月への計画策定に加え、ストレスチェックで高ストレス者と判定された教員への産業医面談の促進とフォロー体制を構築する必要がある。</p>

【くらしを支えるまちづくり】



要望内容	新型コロナウイルス感染症を踏まえた財政対応
------	------------------------------

具体的内容	<p>①財政状況に合わせた施策の推進</p> <p>②国県補助金事業の積極的な活用</p>
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> </div>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応で基金の取り崩しや繰越金の大幅な投入など、市の財政負担が大きくなっていることを受け、市の健全財政を維持することに加え、必要な事業には迅速な取組が求められる。</p> <p>①本市の財政状況や社会経済を取り巻く環境の変化を捉え、選択と集中による総合的な判断を基に本市の主力事業を強化することに加え、今まで以上の大胆な事業・事務の最適化が必要である。</p> <p>②継続的な経済対策などに対して、国に交付金等の支援を求めていくとともに、従来以上の知恵と努力で国県の補助金事業への参加が必要である。そのためにも、国県とのパイプをより強固なものとし、補助メニューの読み取り力を向上させるなどの体質強化が必要である。</p>



要望内容	公共事業における適正な公契約の構築
------	--------------------------

具体的内容	①公契約条例の制定
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> </div>	<p>豊田市公契約基本方針は、平成 23 年に制定されてから 10 年が経つが、社会状況の変化や新型コロナウイルス感染症の影響で今後の労働環境の悪化が懸念されることから、入札後のフォローなどができるように見直しをかけ、ゆるぎない公契約制度が求められる。</p> <p>①公契約条例の制定により公共事業での労働条件向上等を図るとともに、官民双方の事務作業にかかる負荷軽減を目的に A I ・ R P A などの先端技術を活用した取組が必要である。</p>


要望内容	地域産業を支える取組
------	-------------------

具体的内容	① I Tを活用した生産性向上支援
取り上げた理由  	<p>本市の産業は大変革期にあり中小企業が事業を継続していくには、競争に勝ち得るための体質改善が急務である。生産性の向上やエンジニアの育成といった課題に対応するため、外部の専門的な技術協力ができる環境と支援が求められる。</p> <p>①生産能力の課題を I T技術で解決する企業と、中小企業をマッチングさせるしくみを構築し、事業の効率化を促進するとともに業務改善できる人材を育成していくことが必要である。</p>



要望内容	中小企業・小規模事業者の働き方支援
------	--------------------------

具体的内容	①テレワークの導入促進
取り上げた理由  	<p>多様な働き方の実現が期待されているテレワークは、コロナ禍においても感染を抑止できる有効な働き方である。事業者が積極的に新たな働き方への転換を図ることができる支援が求められる。</p> <p>①本市独自でおこなっている豊田市テレワーク導入支援補助金制度を次年度も継続させ、幅広くテレワークの導入促進を図り、新しい生活様式に沿った事業活動と多様な働き方の実現につなげることが必要である。</p>

要望内容	住宅需要に応える既存宅地の活用
------	------------------------




具体的内容	①空き家を活用した定住促進
取り上げた理由 	<p>空き家の管理不全是、草木の繁茂や犯罪の温床などを引き起こすとして社会問題となっている。一方、利活用されれば定住や地域コミュニティの維持につながる有効な手段であるため早期の活用策が求められる。</p> <p>①空き家所有者へ資産の有効活用を促す啓発、また空き家発生の防止につながる転居時の連絡先シートの展開や逝去後の資産活用意思が明記できるエンディングノートの見直しを進め、空き家状態の利活用につながるしくみを構築することが必要である。</p>

要望内容	将来を見据えた道路整備
------	--------------------




具体的内容	①社会経済情勢を反映した道路整備の推進
取り上げた理由  	<p>道路は社会基盤を支え、有事には命を守る重要なインフラである。本市の都市計画道路は県内主要都市に比べ整備率が低く、渋滞も多いため早期整備が求められる。同時に、増加する老朽化対策も必要である。</p> <p>①産業の活性化や生活の質の向上に効果が見込まれる国道155号南北バイパスや関連市道の整備推進を図りつつ、社会情勢の変化を踏まえ適切な整備と維持管理を合わせておこなうことが重要である。</p>

【共に支えあうまちづくり】



要望内容	人生 100 年時代への取組
------	-----------------------

具体的内容	①（仮称）人生 100 年時代構想の計画策定
取り上げた理由   	<p>日本の平均寿命の延伸と共に市民の生活様式も変化してきている。今後も更なる長寿が見込まれるため、若者から高齢者まで全ての市民が元気で活躍し、安心して暮らすことができる社会が求められる。</p> <p>①健康・学び・働きの要素において、本市の将来を見据えた新たな社会システム構築のため、第 8 次総合計画後期実践計画と連携させた計画づくりが必要である。</p>




要望内容	感染症に備える取組の推進
------	---------------------

具体的内容	①（仮称）豊田市感染症予防計画の作成と周知
取り上げた理由   	<p>感染症の流行により医療従事者に影響が出た経験をもとに、自然災害との 2 重発生も想定した感染発生・拡大時に備えた感染症への対策強化を図ることが求められる。</p> <p>①感染者の受け入れ態勢やマスク等の備蓄品、また新しい生活様式等を総合的に考慮し、既存の「豊田市新型インフルエンザ等対策行動計画」の見直しをおこない、地域防災計画や B C P と連動した感染症予防計画の作成と周知が必要である。</p>

要望内容	介護業務の環境整備
------	------------------

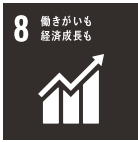

具体的内容	①介護業務の負担軽減
取り上げた理由  	<p>介護需要の増加により、依然として介護職員の人材不足の状況にあるが、現場の業務内容の見直しが進んでいないため、先進技術の活用などにより介護従事者の様々な負担を軽減し、離職防止や介護業務の担い手を増やす取組が求められる。</p> <p>①介護現場における申請書類の重複項目などの簡素化に加え、A I によるケアプランの作成や、見守りセンサー等先進技術の導入を推進することにより、介護業務全体の負荷を軽減することが必要である。</p>

要望内容	誰もがイキイキと働ける社会
------	----------------------

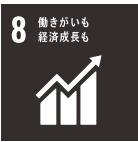

具体的内容	①障がい者の社会参加支援
取り上げた理由   	<p>「障害者雇用促進法」によって民間企業は自助努力の下、障がい者雇用に努めているが、雇用が進んでいない企業に対する支援が求められる。</p> <p>①障がい者雇用の支援として、民間の就労支援事業者と連携し雇用につながった成果事例などを生かした、出前講座による障がい者に対する理解を深めることや雇用後のサポート体制の強化を行ない、障がい者の雇用創出と定着率の向上を図ることが必要である。</p>

【魅力を共感するまちづくり】



要望内容	中心市街地商業の活性化
------	--------------------

具体的内容	①中心市街地の新たな魅力創出
取り上げた理由  	<p>中心市街地の活性化に向け事業を展開するなか、中心的施設である松坂屋豊田店の撤退が表明された。この事態を真摯に受け止め駅前施設の在り方を再検討し、多くの誘客につながる取組が求められる。</p> <p>①撤退に至った検証をおこなうと同時に、市民ニーズを反映した魅力的な店舗の誘致が必要である。更には、周辺施設が連携し相乗効果を生む一体的なまちなか再生を図る必要がある。</p>



要望内容	観光のスマート化による誘客
------	----------------------

具体的内容	①観光型 MaaS への取組
取り上げた理由  	<p>観光を本市の主要産業に発展させるには、知名度や魅力を高める必要がある。本市既存の観光資源と強みを融合した観光スタイルを構築し、他との差別化を図った観光戦略が求められる。</p> <p>①複数の交通機関と超小型モビリティなど、あらゆるサービスを一括して提供できるMaaSシステムを活用したシームレスな観光に取り組むことで、既存観光がさらに楽しめる独自の観光戦略が必要である。</p>





要望内容	とよた SDGs 未来都市の実現に向けた取組
------	-------------------------------

具体的内容	<p>①とよた SDGs の市民への情報発信</p> <p>②とよたエコフルタウンの機能強化</p>
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">11</div> <div style="font-size: 8px; color: white; text-align: left;">住み続けられるまちづくりを</div> </div> <div style="margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">17</div> <div style="font-size: 8px; color: white; text-align: left;">パートナーシップで目標を達成しよう</div> </div> <div>  </div> </div>	<p>SDGs の取組による持続可能なまちづくりを目指し、豊田市が進めるエネルギー・モビリティ・ウェルネスを重点分野に、誰も取り残さないつながる社会の実現のため、市民と共働した取組や普及啓発が求められる。</p> <p>①市民の関心を高める中心市街地等での装飾やパートナーシップを通じた取組の強化に加え、Web 発信やリモート会議体などを有効に活用した市民への周知が必要である。</p> <p>②今後 10 年を見据え、世界各国への情報発信基地としての役割を強化させるために、自動運転などパートナー企業の実証にも活用できるよう施設の再構築や実証エリア拡大など、将来のまちづくりに向けた取組が必要である。</p>

要望内容	ゼロカーボンシティへの取組
------	----------------------

具体的内容	①ゼロカーボン達成に向けた行動計画の実践
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 5px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">12</div> <div style="font-size: 8px; color: white; text-align: left;">つくる責任 つかう責任</div> </div> <div style="margin-bottom: 5px;">  </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">13</div> <div style="font-size: 8px; color: white; text-align: left;">気候変動に具体的な対策を</div> </div> <div>  </div> </div>	<p>本市は 2050 年度までに CO₂排出量実質ゼロを目指しており、様々な環境配慮行動を推進しているが、ゼロカーボンシティを達成するには全市民・事業所が同じ認識のもと環境配慮行動を実践することが求められる。</p> <p>①ゼロカーボンシティへ向けた各種取組の目標などを環境基本計画に織り込み、目標達成への具体的な行動を促す必要がある。</p>

要望内容	ソサエティ 5.0 の取組
------	---------------

具体的内容	<p>①先端技術を活用した事務事業の効率化</p> <p>②5G 環境の積極的な活用</p>
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> 8 <div style="flex-grow: 1;"> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">働きがいも 経済成長も</p>  </div> </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> 9 <div style="flex-grow: 1;"> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>  </div> </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> 11 <div style="flex-grow: 1;"> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">住み続けられる まちづくりを</p>  </div> </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> 17 <div style="flex-grow: 1;"> <p style="font-size: 0.8em; margin: 0;">パートナーシップで 目標を達成しよう</p>  </div> </div> </div>	<p>2025 年問題や少子化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式の取組に対して、A I ・ I o T の実装は喫緊の課題である。市民サービスの充実のため、先進技術の導入とともに、未来の都市づくりに向けた環境整備が求められる。</p> <p>① A I などの先端技術を活用し、オンライン申請やキャッシュレス、A I 総合窓口サービスを拡充することで多様な市民ニーズや新しい生活様式に対応するとともに、業務の効率化や職員の在宅勤務を促進するなどの働き方改革につなげることが必要である。</p> <p>② 5 G を生かした新たなサービスへの取組のため、5 G の調査研究を進めるとともに、キャリア 5 G やローカル 5 G を活用した実証事業を官民連携して取り組む必要がある。</p>

4. 引き続き注視する項目

下記の項目については、引き続き取組を注視します。

常任委員会	項目
企画総務	・水素社会の推進
地域生活	・帰宅困難者への支援
教育社会	・いじめ対応に向けた体制強化
環境福祉	・地区担当保健師の増員による地域健康づくりの促進
産業建設	・企業進出の需要に応じた産業用地の確保

《参考》

1. 2021 年度政策要望に向けての論点整理

【安全・安心なまちづくり】

①防災機能の強化

大規模自然災害の発生に備え、事業所と地域・行政の共働による防災活動の強化を通じて、市民の尊い生命財産や生活を支える産業を守ることが重要である。また、新型コロナウイルスのような今後も発生し得る感染症も含め、日常生活に支障をきたすあらゆる事態を想定し、防疫および発生から復旧に到る対応力の強化が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 豊田市防災基本条例に基づく地域防災力・減災力の強化
- イ. 大規模災害時に対応するための近隣自治体や事業所との連携（支援・受入体制の整備）
- ウ. 住民防災意識の向上と地域自主防災組織の体制強化（マイタイムラインの支援、各家庭への備蓄品確保推進、防災リーダー育成、地域防災力の向上）
- エ. 住宅及び公共施設の耐震対策の推進（橋梁の耐震強化・非構造部材の耐震化、住宅の耐震診断）
- オ. 確実に防災情報が届く情報伝達システムの整備（緊急メールとよた登録の推進、防災ラジオ普及促進・SNS を活用した情報伝達）
- カ. 帰宅困難者への対応（帰宅困難者対応マニュアル整備）
- キ. 女性や災害弱者に配慮した避難場所運営・備蓄の強化
- ク. 豊田市総合雨水対策アクションプランの着実な実施
- ケ. 医療、教育、経済をはじめとする生活の確保と復旧に向けた各種支援

②防犯体制の強化

防犯体制の強化は、市民の関心が高く市民の尊い生命財産を守る取組が求められる。本市は、自動車関連窃盗、住宅対象侵入盗に加え、近年、特殊詐欺が多発しており市民の防犯意識の向上や関係機関、地域との連携強化による安全・安心なまちづくりが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第6次豊田市防犯活動行動計画」の確実な推進
- イ. ネット犯罪被害者の低年齢化を受けた子どもの防犯意識の醸成
- ウ. 学校及び通学路の安全確保
- エ. 防犯カメラ・表示の効果的な設置拡大
- オ. 特殊詐欺などによる被害情報の提供や防犯意識の啓発強化
- カ. 自主防犯団体との連携による防犯活動の強化
- キ. 自転車の無施錠犯罪率削減への取組強化

③交通事故防止対策の強化

全国的に交通事故死者数は減少傾向にあり、愛知県は交通事故死全国ワースト1位を返上することができた。しかし本市においては令和元年に16名が亡くなり、歩行者・自転車事故、特に高齢者への対応が急務である。交通事故死者数の増加を重く受けとめ、交通事故防止対策の更なる強化が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 豊田市交通安全学習センターを活用した市民への積極的な意識啓発（交通ルールを守る教育の徹底）
- イ. 高齢者の交通事故防止対策（後付け安全運転支援装置設置費補助・交通安全簡易診断・高齢者の免許証返納への取組）
- ウ. 自転車事故の防止対策（条例や運転ルールの周知強化、自転車道整備空間の効果検証）
- エ. 豊田都市交通研究所の社会実験の成果を踏まえた施策展開（プローブデータを活用した危険箇所への対策）
- オ. 生活道路などにおける人優先の安全な歩行空間の確保（横断歩道のカラー舗装化、ゾーン30・キッズゾーン導入）
- カ. とよた3Sドライブ及び歩行者保護モデルカー活動の更なる推進
- キ. 交差点におけるガードレール・防護柵による歩行者保護

④消防力の強化

全国で多発する大規模自然災害への備えが急務であり、消防を取り巻く環境は大きく変化している。市民の生命財産を守るため、更なる消防力の計画的な強化が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3次豊田市消防整備基本計画」の着実な推進
- イ. 災害対応力の強化（高度救助体制の構築、救助資機材の整備）
- ウ. テロ災害を想定した現場対応力の強化
- エ. 消防救急デジタル無線及び消防指令システムの着実な運用
- オ. 消防職員育成プログラムによる若手消防職員の育成
- カ. 消防団員の確保と育成に向けた支援の充実
- キ. 先端技術を活用した消防力の更なる強化（消防用ドローン・net119・メール119）

⑤上下水道基盤の整備

市民の豊かで健康的な生活の確保や、産業の活性化には、安全、安定、安価な水の持続的な供給が重要である。そのために災害に強いライフラインの確立に向けた上下水道基盤の構築を促進することが重要であるとともに、良質な水道水の安定供給と、下水道の水質保全対策を着実に推進することが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 水の安全性向上のための「新・豊田市水道ビジョン」の着実な推進
- イ. 地震災害に強い安全・安心な上下水道機能の構築（水道施設の地震災害対策事業の推進、下水道管路長寿命化工事の推進）
- ウ. 安価で安定した水供給のための上水道施設の統廃合の推進
- エ. 上水運用センターの効率的な組織運営
- オ. 豊田市下水道管路施設包括的維持管理業務契約による適正な組織運営
- カ. 将来を見据えた財務体制強化

⑥定住促進

本市は、家族形成期世帯の転出超過が課題であり、住宅地開発と土地の要件緩和とともに、全国トップクラスの子育て支援をはじめとする定住情報など、まちの魅力を発信することが重要である。また、更なる定住促進には、本市の特性を勘案した公共交通の最適化などの推進が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3次豊田市住宅マスタープラン」の確実な推進
- イ. 土地区画整理事業の推進
- ウ. 市街化調整区域の効果的活用
- エ. 都市計画法に基づく宅地開発
- オ. 都市と農山村地域の共生
- カ. 鉄道駅周辺の民間開発誘導のための規制緩和
- キ. 本市の魅力を総合的に発信するシティプロモーションの実施
- ク. 名鉄三河線高架化・複線化事業の推進
- ケ. 愛知環状鉄道の利便性向上への取組
- コ. 空き家、既存住宅の利活用による定住促進

⑦中心市街地の活性化

周辺自治体では大規模商業施設の立地計画が進んでおり、その状況下でも選ばれる都心に生まれ変わることが求められている。また、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開業によるリニアインパクトを波及させ、市内経済を活性化に繋げるためにも公民連携によるにぎわい創出と回遊性のある活性化事業を展開することが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3期中心市街地活性化基本計画」の推進
- イ. 都心公共施設活性化の推進
- ウ. 環境変化を踏まえた「都心環境計画」の随時評価と見直しによる都心空間の活用と再整備（豊田市駅の再整備、ウォークブル推進都市の実行、大型百貨店の撤退）
- エ. 商業活性化に向けた人材育成の強化と空き店舗の活用
- オ. 既存駐車場の効率的な活用も含めた駅前周辺駐車場の利便性向上

⑧都市の更なる成長を支える道路整備

国県幹線道路整備事業に併せて、産業拠点の拡大や住宅開発等、また新たな市街地への誘導を促進する利便性の高い道路ネットワークの構築が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 広域交流や緊急輸送道路・都市機能を高める道路ネットワークの構築
- イ. 安全・安心で快適に利用できる生活道路や幹線道路の整備
- ウ. 産業拠点や研究開発施設などへのアクセス道路整備推進

⑨人と環境にやさしい交通体系整備

すべての生活者にとって住みやすいまちづくり、すべての利用者にとって利用しやすい交通インフラの提供に向けて、交通機関・交通施設・道路等を合わせた総合的な整備が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. ユニバーサルデザインによる安全で安心して利用できる交通環境整備の推進
- イ. 環境にやさしい公共交通機関の充実
- ウ. MaaS-City とよた構築に向けた取組の推進
- エ. 道路整備、交差点改良等によるCO₂削減の観点での渋滞対策
- オ. 高齢者の運転免許証自主返納に対応する生活に必要な移動手段の確保
- カ. 公共交通空白地区並びに中山間地域の移動支援体制の構築
- キ. プロブデータを利活用した道路整備等につながる仕組みづくり
- ク. 自動運転レベル4実現への実証実験推進

⑩情報化（ICT）戦略への対応

多様な産業分野から身近な生活まで ICT 技術が利活用されるなか、新たな価値の創出や社会的課題の解決に向けた環境整備が必要であるとともに、情報セキュリティ対策と利便性向上の取組が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. SNS を活用した効果的な市政情報発信の推進
- イ. 市民参加型の情報活用（プローブデータ等）による公共施設整備の効率化
- ウ. 公衆無線 LAN の整備拡大
- エ. マイナンバー制度の効果的運用とカード取得啓発
- オ. 情報セキュリティの強化
- カ. ICT 社会の実現に向けた整備促進

【企業の発展と働く人がイキイキ暮らせるまちづくり】

①勤労観・職業観の醸成

将来を担う子どもたちが本市の強みであるものづくりを通して、創造する喜びを体験するとともに、新しい技術を生み出し世界と競い合える人材を育てる教育をすることが求められ、本市全体でものづくりを支える体制が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 科学やものづくり体験学習の拡充
- イ. ものづくりサポーター人材確保
- ウ. 豊田少年少女発明クラブ等の活動支援
- エ. 職場体験学習の充実

②適正な労働環境の整備

適正な労働条件の確立と労働関係法令の遵守に向け取り組むことは、全ての労働者の命と生活を守り企業の持続可能な発展へ寄与するものである。また、近年製造業へ導入が進んでいる AI や IoT をはじめとした第 4 次産業革命へ対応するための、人材確保や育成を行う環境整備が求められている。

<着目すべき項目>

- ア. 労働関係法令の遵守に向けた周知・啓発、適正な運用の取組
- イ. 適正な事業運営に対する法令遵守の取組強化（偽装請負、違法派遣、外国人研修・技能実習制度の乱用等への対応）
- ウ. 外国人労働者の定住化に伴う就業環境の支援・改善（教育、労働、社会保障、医療等の課題への対応、技能育成や資格取得等の支援策）
- エ. 労働災害防止に向けた安全管理体制、リスク低減対策取組の強化
- オ. メンタルヘルス疾患や自殺に対する相談体制や予防教育の充実
- カ. 第 4 次産業革命へ対応するための人材確保と育成
- キ. 公契約条例の制定に向けた検討

③雇用の安定と創出

就労を希望するすべての人が安心かつ安定して働くことができることを大前提として、雇用の創出と安定を目指した雇用環境の整備に最大限努めることが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 若年者、ニート、就職氷河期世代の適切な就業・定着支援の推進
- イ. 企業との連携による母子家庭等の自立に向けた女性の能力開発や就労支援
- ウ. 継続雇用制度に基づく 65 歳まで働ける職場環境整備と高齢者の就労支援
- エ. 障がい者への就労支援
- オ. 日本語教育、職業訓練、技能習得機会の提供による外国人の就労支援
- カ. 保育需要の拡大に対応し保育従事者の確保定着を図るため、業務改善に向けた取組の推進
- キ. テレワークを含めた働き方改革推進に向けた支援の促進
- ク. 有事における各種雇用維持支援

④産業誘致の推進

産業の強靱化と更なる製造業の発展に向け新技術の開発拠点づくりの支援、新規産業の誘致、企業立地セミナーの開催、企業展への出展等の取組が必要である。また、民間事業者の立地を促進するために、豊田市企業立地奨励条例の周知及び庁内体制強化による各種支援が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 高速道路 IC 周辺における産業用地確保に向けた取組の強化
- イ. 産業用地の情報提供、開発手続の迅速化、インフラ整備の支援等、民間開発支援策の推進による企業立地の促進
- ウ. 豊田市企業立地奨励条例の周知と積極的な活用による次世代産業を含めた多角的産業分野への支援強化

⑤中小企業・小規模事業者への支援

多くの中小企業や小規模事業者に支えられたものづくり産業の集積地であるとともに次世代産業の起業を支援する取組を進めている。中小企業等は厳しい経営状況のなか、人材育成や技術・経営、新たな事業展開等の課題に注力することが難しいため、産学官が連携し事業継続・拡大や産業構造への変革に対応していく支援が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. とよたイノベーションセンターの機能充実
- イ. ものづくり創造拠点 SENTAN の活用によるものづくり人材の確保・育成等に関する支援
- ウ. 相談窓口や技術・経営相談のワンストップサービスの推進

- 工. 新製品・新技術等、開発補助制度を活用した技術支援と生産基盤の強化
- オ. 豊田市ものづくり創造補助金によるスタートアップ支援の推進
- カ. 事業承継への支援

⑥地域に根差した農林業の推進

地域と行政が一体となり農林業の6次産業化を推進することで、地域資源を生かした新たな商品やサービスの開発を進めることが重要である。将来に渡り農業従事者を維持させるとともに、中山間地域の活性化につながるための耕作放棄地解消に向けた取組が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「地域農業マスタープラン」による計画的農業振興
- イ. 6次産業化の先達、国・民間の専門家を活用した経営の改革
- ウ. マーケティング体制整備による流通や販路拡大
- エ. 農林業資源の活用によるバイオマス、自然エネルギー等の推進
- オ. 災害に強い農林業インフラ構築
- カ. ロボット技術やICTの活用によるスマート農林業の推進
- キ. 特産品開発アドバイザー派遣や試作支援の推進
- ク. 豊田市中核製材所を拠点とした林業の活性化
- ケ. 農地バンク制度を活用した耕作放棄地解消事業の推進
- コ. 農林業に携わる担い手の確保
- サ. 鳥獣害対策の推進
- シ. 「第3次豊田市農業基本計画」の着実な推進
- ス. 豊田市農林産物の積極的な消費の推進

⑦観光を生かしたまちづくり

国際的イベントなどの開催に向けた、観光まちづくりを推進するための人づくりや、観光情報の提供、お土産、特産品の販売を展開することに加え、市内における宿泊機能の拡大など、国内外からの誘客につながる環境整備を推進する必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. ツーリズムとよたと連携した観光の産業化に向けた取組
- イ. 地元の特性を生かした観光づくり
- ウ. オールとよた魅力発信事業の推進
- エ. 「豊田市観光実践計画 2018-2020」の効果検証
- オ. おいでん・さんそんセンターによる都市と農山村交流の推進
- カ. インバウンド観光に対応する戦略的観光事業の推進

【誰もが平等に暮らせるまちづくり】

①自分らしく暮らせる社会の実現

男女という性別のみならず、さまざまな立場である誰もが自らの発言と行動に責任を持ち、また他人を尊重できる地域社会の実現が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 固定的性別役割分担の解消、行動変容の促進
- イ. ドメスティック・バイオレンスへの対応
- ウ. LGBT への理解促進

②勤労者の男女均等待遇の確立

雇用・就業形態の多様化に加え、女性の労働力が期待されるなか、雇用形態や契約期間等の如何に関わらず、均等待遇の実現に向けた取組が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 雇用環境の整備や社会環境づくりの推進
- イ. 女性のキャリアアップと定着に向けた取組
- ウ. セクシャルハラスメントやマタニティハラスメント等、各種ハラスメントへの対応

【生涯にわたりみんなで支え合うまちづくり】

①子ども・子育てを社会全体で支える仕組みの構築

親としての役割を果たしながら、安心して子どもを産み育てることのできる社会環境整備に向け、国の法改正も注視し社会全体で子育てを支える体制づくりが重要である。また、愛知子ども調査の結果に基づく実効性のある施策の充実が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 仕事と生活の両立を支えるための社会環境整備
- イ. イクボスの拡大による子育てしやすい職場環境の整備
- ウ. 社会全体で子育てを支える体制整備（病児・病後児保育、ファミリーサポートセンター等の子育て支援策の充実）
- エ. 共働きやひとり親世帯が増加するなかでの放課後児童対策の更なる充実
- オ. 年間を通じた待機児童解消に向けた取組（民間移管・小規模保育等の推進）
- カ. こども園の民間移管における保育の質の確保
- キ. 保育師の人材確保と就労環境改善による定着と保育の質の向上
- ク. 「第3次豊田市子ども総合計画」の推進

②子どもの健全育成支援

子どもを持つすべての保護者が、自信と責任を持ち安心して子育てができる支援が重要である。また児童虐待防止対策の強化により、子どもの権利が守られ健全に育まれる社会環境づくりに努め、出産から子育てを社会全体で切れ目なく支援をすることが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 子育て支援センターの環境の充実
- イ. 児童虐待撲滅に向けた体制強化
- ウ. 出産から子育てに係る経済的負担の軽減（生活困窮者への対応）
- エ. 産前産後支援の着実な推進
- オ. 若者サポートステーションの活用による青少年の健全育成
- カ. とよた急病・子育てコール24の着実な運用

③高齢者福祉の充実

豊田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の取組である、地域共生の推進や在宅医療と福祉の連携強化、介護人材の確保・育成を進め高齢者福祉・介護サービスの質の向上を図る必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. 地域共生社会実現に向けた取組の推進
- イ. 健康と福祉の総合相談窓口の着実な運営
- ウ. 仕事と介護のバランスのとれた施策の充実
- エ. 特別養護老人ホーム施設等の待機者解消策の推進
- オ. 介護従事者の労働条件の改善と人材の確保・定着率の向上（介護ロボット導入促進）
- カ. 在宅介護の負担軽減（介護ヘルパー派遣・家族支援など）
- キ. 虐待、孤独死の防止に向けた対応
- ク. 認知症初期集中支援チームの着実な運用
- ケ. 要支援1・2に対する支援サービスの推進
- コ. かえるメールとよた登録の推進
- サ. 成年後見支援センターの啓発
- シ. 老々介護の早期対応の推進

④障がい福祉の充実と自立支援

障がい者の自立支援と社会参加促進の観点から、利用者の実情に応じた障がい福祉サービスの適切な提供と支援・環境整備が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第5期豊田市障がい福祉計画」「第1期豊田市障がい児福祉計画」の推進による、障がい福祉サービスの充実と次期計画策定
- イ. 障がい者の自立支援策及び就労の推進
- ウ. 発達を促す早期療育施設の充実
- エ. 特別支援学校の再整備支援

⑤医療機関への適正受診と医療サービスの提供

市民が安心して医療サービスを受けるためには医療施設と市民の適切な受診行動が重要になる。加えて、医療従事者の労働環境の改善は医療の安全性の向上につながる。また、多様な医療ニーズへの対応と負荷軽減のためには、医師・看護師等の増員が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 豊田地域医療センター再整備の着実な推進
- イ. 慢性期医療体制の充実
- ウ. 予防接種の適切な対応
- エ. 適正な受診行動につながる意識啓発
- オ. 医師・看護師等医療従事者の仕事と生活の両立支援
- カ. 医療費抑制地域目標設定への対応
- キ. 在宅医療と介護の連携に向けた人材確保と育成
- ク. 高額医療費の費用支払いなどレセプト審査の強化
- ケ. とよた急病・子育てコール24の着実な運用
- コ. 感染症予防への取組強化

⑥健康増進

ライフステージに合わせて、市民が自ら取り組む心と体の健康づくりを推進するとともに、各地域の健康課題を把握し地域の実状にあった健康増進と生活習慣の改善行動への取組が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 健康づくりに対する市民意識の向上
- イ. 介護予防の推進
- ウ. 特定健診・特定保健指導の受診率の向上
- エ. がん検診受診率の向上に向けた関係機関との連携
- オ. 豊田市歯と口腔の健康づくり推進条例を踏まえた取組
- カ. 自殺防止に向けた多様なゲートキーパーの育成
- キ. 地域健康カルテを活用した地域健康課題の解決と横断的な展開

⑦安全・安心な食料の確保と地産地消による食料自給率の向上

「第3次豊田市食育推進計画」に基づき輸入品を含む一貫した食の安全性・品質管理に努めるとともに本市の特色を活かした農産物の積極的なPRによる地産地食の啓発・普及を図る必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. HACCP に沿った衛生管理による食品の製造・流通等の安全性強化
- イ. 食料自給率の向上（中長期的な視点に立った農業支援策の充実と後継者育成）
- ウ. 学校をはじめ家庭や地域、民間団体、企業等と連携した食育推進に向けた取組
- エ. 地産地食の奨励（農業の地域活性化、農産物の輸送に伴う環境負荷軽減）

⑧生活保護受給者への自立支援

生活保護受給者の自立の観点から、受給者の実情に合ったものか否かの検証を図り適切な支援が必要である。また、生活保護世帯のニーズ等を考慮した自立支援の体制づくりが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 真に支援が必要な人への支援策の充実
- イ. 生活保護受給者への就労支援等に関わる相談体制の充実
- ウ. 自立支援プログラムの充実

⑨高齢者の社会参加の促進

定年を迎えたシニア世代が豊かな経験や技能を地域活動に活かし、生涯活躍できる環境整備を推進するとともに、高齢者への多様な就業機会の確保・拡大を図る必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. 生きがいづくり推進支援
- イ. シルバー人材センターの活用と人材確保
- ウ. 体力に応じた柔軟な働き方への環境整備
- エ. 市民活動センター等の積極的な活用による多様な学びの場の提供

【家庭・地域・学校が連携した教育の実現】

①家庭・地域の教育力向上

家庭・地域・学校がそれぞれの責任を果たし協力しながら、次世代を担う子どもたちの健全育成に努めることが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 親ノートの着実な活用の推進と、親育ち交流カフェ等の参加率向上に向けた取組強化
- イ. 地域と連携した教育環境づくりの推進
(地域学校共働本部、豊田市版コミュニティ・スクール等)

②ゆきとどいた教育の実現

社会環境の変化などに対応するきめ細かな教育が求められるなか、いじめや不登校がなく子どもが誰一人取り残されることなく夢を持っていきいきと学ぶことのできるゆきとどいた教育を地域・社会が連携して実現することが必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「教員人材育成プラン」の着実な運用
- イ. 「豊田市教職員多忙化解消プラン」の実践
- ウ. 学校規模適正化への取組
- エ. 少人数指導の効果の検証と少人数学級の実現への環境整備
- オ. 学習指導要領に基づいた教育の推進
- カ. 特別支援教育に対する支援
- キ. 外国人児童生徒に対する教育支援
- ク. 国際社会で生き抜く力を付けるグローバル教育の推進
- ケ. 子どもの体力向上に向けた取組（学校・地域・企業の連携）
- コ. 行政・学校・家庭との連携によるいじめ・不登校への迅速な対応
- サ. ICTを活用した教育支援の拡充

【環境にやさしいまちづくり】

①環境リーディング都市の推進

環境モデル都市ならびに、次世代エネルギー・社会システム実証事業の環境技術を集約した、とよたエコフルタウンなどによる安心で活力と魅力あふれる低炭素社会を提案し、SDG s の取組につなげることが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「第3次豊田市環境モデル都市アクションプラン」の着実な推進
- イ. 市民主体の低炭素活動の実現
- ウ. 環境技術の活用等による低炭素交通の推進

エ. 中小企業のCO₂削減や環境経営の支援
オ. 「豊田市環境基本計画」の推進

②地球温暖化対策の推進

豊田市が表明した 2050 年 CO₂ 排出実質ゼロを目指し、具体的な行動指針を示しながら、今後も市が主導性を発揮し、排出量が増加している運輸、民生部門を中心に事業者、行政、市民が連携し実効性ある取組を推進することが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市地球温暖化防止行動計画」の推進
- イ. SDGs ポイント制度の周知と協賛企業の拡大
- ウ. 市内クールシェアの拡大と広域連携
- エ. 企業と連携した次世代自動車の普及
- オ. 公共施設等での省エネ・創エネ設備の積極導入
- カ. 蓄電システム・ZEH 住宅の普及促進
- キ. 食品ロス低減に向けた啓発

③循環型社会の確立

資源循環型社会の構築に向け、限りある資源を効果的に循環利用する 3 R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進やリユース工房の活用・啓発の取組が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市一般廃棄物処理基本計画」の推進
- イ. 家庭、地域、行政が一体となったごみ排出量の抑制に向けた取組
- ウ. 緑のリサイクルセンターの有効利用
- エ. リサイクルステーションとリユース工房を核としたリサイクルの推進
- オ. 災害時における「豊田市災害廃棄物処理計画」の適切な対応

④自然と共生する社会の推進

本市の豊かな自然を生かし地球温暖化防止及び自然災害防止等、森林・河川の持つ保全機能の維持に向けた、管理・整備を推進することが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市 100 年の森づくり構想」に基づいた、森林保全を広く市民が理解する仕組みづくり
- イ. 生物多様性に関わる保全および環境学習の推進
- ウ. 大気、水質汚染の防止（光化学スモッグ、PM_{2.5}、生活排水等）
- エ. 東海丘陵湧水湿地群の保全活動の強化

⑤エネルギー政策の推進

国の「第5次エネルギー基本計画」においても、新たなエネルギーへの転換が求められており「豊田市地球温暖化防止行動計画」の推進による、更なる低炭素社会の実現への取組が期待される。また首長誓約を受け、広域連携による持続可能なエネルギーアクションプランを積極的に進めていくことが求められる。

<着目すべき項目>

- ア. エネルギーの地産地消の推進と活用モデルの確立
- イ. とよたエコライフセンターの有効活用
- ウ. 充電・充填施設設置や水素ステーションなどの交通インフラの整備

【持続可能なまちにつながる行財政改革】

①財政基盤の体質強化

将来的な福祉需要の伸びや公共施設の維持管理等、義務的経費が増加するなか、自治体の財政基盤の強化・充実が急務である。加えて、税制改正による法人市民税の一部国税化影響や自動車産業に特化した産業構造による、安定的な税収確保の課題を踏まえ、総合的な視点で本市の財務体質強化が求められる。

<着目すべき項目>

- ア. 財政状況等、市政経営の見せる化に向けた取組
- イ. 広域行政圏・地方分権の推進
- ウ. 「公共施設等総合管理計画」の着実な推進と「個別施設計画」の策定
- エ. 新たな歳入確保に向けた取組
- オ. 公民連携（PPP）による民間の資金やノウハウの活用
- カ. 業務の選択と集中による歳入にみ合った予算規模へのソフトランディング
- キ. 市有地の利活用の推進

②事業の見直し

想定される歳入減（地方交付税合併特例・法人市民税一部国税化）に対応するため、的確で効率的な行政経営が求められる。そのためには、事業を見直す仕組みを有機的に関連付け、ひとつのシステムとして確立するとともに、その考え方について職員一人ひとりに浸透させ、職員の意識や具体的な行動の変革へとつなげていくことが重要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「次期地域経営戦略プラン」の策定に向けた取組
- イ. 改廃を含めた体系的な事業見直しの推進
- ウ. 職員の意識改革及び研修の場の提供
- エ. 市民の意見を反映する制度の充実
- オ. 補助制度等、社会情勢に適応した制度への見直し
- カ. 地域自治システムの効果的な運用に向けた見直しと評価の実施
- キ. AIを始めとする革新的技術の導入による業務改善
- ク. 職員の在宅勤務の推進

③入札契約制度の適正化

入札不調・不成立の多発、地域経済の活性化、品質の更なる向上、透明性・公平性の確保など、様々な課題に対し地産地消の考えのもと地域内経済循環を志向した工事契約制度を構築する必要がある。

<着目すべき項目>

- ア. 地域内での物品購入促進
- イ. 工事技術者不足解消に向けた若者・女性への育成支援強化
- ウ. 入札不調・不成立の防止に向けた工事発注時期平準化等の取組
- エ. 工事関係委託の品質確保

④地域経営システムの構築

「第8次豊田市総合計画 後期実践計画」を着実に推進するため、地域と連携することで、地域経営体の一員として地域の持続的な発展に向けて活動することが求められる。地域経営を進めるしくみとして、行政改革と多様な取組の推進による地域経営システムの構築が必要である。

<着目すべき項目>

- ア. 「豊田市都市計画マスタープラン」に基づいた都市機能及び居住誘導の推進
- イ. 多様なまちづくりの担い手の連携促進の場づくり
- ウ. 地域主体で策定する「地区まちづくりビジョン」の推進
- エ. 人口減少社会への対応につながる出会いの場の創出

《参考》

2. 2020 年度政策要望の回答に対する評価

安全・安心なまちづくり

要望内容	犯罪を発生させないまちづくり
主な回答内容	①防犯設備整備費補助制度において、引き続き防犯カメラ設置時の表示の設置も支援するとともに、愛知県警察本部が推進するプレートの設置を進めていく。
評価	①プレートの設置等の防犯カメラの見せる化による犯罪抑止の啓発を評価する。今後は、防犯重点区域に設置した貸出防犯カメラの効果検証と更なる防犯カメラの拡充による犯罪撲滅に期待する。
①－〇	

要望内容	災害に強いまちづくり
主な回答内容	<p>①防災ラジオの体験を通じた周知を高齢者クラブや障がい者団体等におこない、普及促進を図る。また、緊急メールとよたの情報を、市公式 LINE 等に配信し災害種別ごとにきめ細かな避難情報を発令することで確実な避難行動につなげる。更には、市民自らの避難行動に繋げるようマイタイムラインの作成支援など防災意識の醸成を図る。</p> <p>②女性消防職員に対する施設整備は4消防署に対応。今後も、施設面での整備を行うとともに、女性消防職員の採用と育成を進めていく。また、女性消防団員数は増加傾向で活躍の場は広がっているため、今後も女性団員が活躍できる環境を整えていく。</p> <p>③「(仮)新水道耐震化プラン」に基づき、大規模な断水が発生した場合に備え既存の災害拠点給水施設の改修を行うとともに、新たに飲料用循環式耐震性貯水槽を設置していく。</p>
評価	①市民へ災害情報をリアルタイムに伝えるために、防災ラジオの啓発や市公式 LINE等の様々な媒体を活用した取組を評価する。今後は、市民一人一人の防災行動計画マイタイムラインを有効活用できるように、作成において市民に寄り添った支援を進めることを期待する。
①－〇	②女性活躍社会の確立に向け、女性消防職員の採用と育成を進めることを評価する。今後は、女性が働きやすい施設整備に加え、国が求める女性配備率を目標に人材確保と育成に努めていくことを期待する。
②－〇	
③－〇	③大規模災害に備え、新たに飲料用循環式耐震性貯水槽を設置していくことを評価する。今後は、給水人口を基準に適切な設置を期待する。

要望内容	交通事故死傷者の削減に向けた取組
<p>主な回答内容</p>	<p>①国・県・県公安委員会と連携し、民間プローブデータやETC2.0データを活用し、交通危険箇所の把握と効果的な交通安全施設整備を進める。</p> <p>②高齢者の後付け安全運転支援装置設置費補助を継続。また、高齢者の運転技術講習会を支所でも実施して、安全運転意識向上につなげていく。</p> <p>③自転車の安全利用を企業に対しても交通安全学習センターの出張講習活用を啓発。また、専門的な知識、技能を有する指導員の人材確保にも努めて出張講習に対応していく。交通安全学習センター内に自転車通行空間を設置して指導・啓発していく。更には、自転車の安全利用に関する条例を制定し法令遵守や意識向上を図る。今後は、継続的に自転車通行空間の通行状況調査を行い、安全性などの追加対策を検討・実施していく。</p>
<p>評価</p> <p>①－○</p> <p>②－○</p> <p>③－○</p>	<p>①収集されたビッグデータを有効に活用し、交通危険箇所の対策に取り組むことを評価する。今後は、優先順位を決め早期対策による交通事故防止の取組が促進することを期待する。</p> <p>②支所を活用した高齢者運転技術講習会の実施や、市独自の後付け安全運転支援装置設置費補助の迅速な対応に加え、新設された国県補助制度の有効活用を評価する。今後は、補助制度の周知をおこない機能の安全化を図ることで交通事故防止につながることを期待する。</p> <p>③自転車の安全利用に関する条例制定による自転車利用者の意識の醸成を評価する。今後は、指導員の確保による講習の拡充や、企業への啓発による出張講習の充実に加え、自転車が安全に通行できる環境づくりを期待する。</p>

要望内容	子どもを守る取組
<p>主な回答 内容</p>	<p>①小中学校の全児童生徒に配布している「相談窓口カード」に国等が行っているSNS相談窓口情報を追記するなど、引き続き子どもたちが抱える悩みや困りごとに対し相談しやすい環境づくりに努める。</p> <p>②増加する児童虐待相談に対応するため、「子ども家庭総合支援拠点」において、虐待のケースワークを担当する育児支援専門員を2名増員する。また、妊娠期から子育て期にわたり切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」において、会計年度任用職員を1名増員する。</p>
<p>評 価</p>	<p>①相談できるツールの拡充により、子どもたちが相談しやすい環境となることを評価する。今後はより身近に相談できるよう、本市独自のSNSを活用した相談体制の構築に向けた取組に期待する。</p>
<p>① - ○ ② - ○</p>	<p>②子どもの成長に合わせて、切れ目ない支援が行えるよう職員を増やしたことを評価する。今後は、増加する相談にきめ細かく迅速に対応することで虐待の未然防止を図り、虐待ゼロにつながることを期待する。</p>

要望内容	高齢社会への適応
<p style="text-align: center;">主な回答 内容</p>	<p>①今後、高齢者の急激な増加に伴い、支援を必要とする高齢者が増えていく中で、新たな技術の展開を注視しつつ、より効率的、効果的な見守り体制の構築を図っていく。なお、地域によっては高齢者を見守る組織体制を構築する取組が行われており、これらとも連携し、高齢者の見守り体制の充実を図っていく。</p> <p>②豊田加茂医師会及び豊田地域医療センターと連携し実施しているオンライン診療の実証結果や診療報酬の改定の動向を踏まえ、活用可能性等を整理し医師会等と連携してオンライン診療に関する情報発信をしていく。</p> <p>③ご遺体の引き渡しに係る一連の手続きを確実に実施するとともに生活保護受給者に対しては、死亡時における対応について可能な限り聞き取り等を行い適切な対応をしていく。葬儀費用の予納制度について、他市の取組状況も参考にしつつ、調査研究をしていく</p>
<p style="text-align: center;">評 価</p> <p>① - ○</p> <p>② - ○</p> <p>③ - ○</p>	<p>①人口構造の変化に伴う高齢者の見守り体制の充実に向けた検討を評価する。今後は一部の地域で行われている高齢者の見守る組織体制を参考に、市の実情にあった効果的な見守り体制が全域で構築されることを期待する。</p> <p>②オンライン診療に係る各種の実証実験等、前向きな取組を評価する。診療報酬の動向に注視しつつ、先進技術を活用した医療の在り方を推進することで、医師や患者の負担や山間地における移動の障壁など、医療の課題解決に寄与することを期待する。</p> <p>③葬儀費用の予納制度に向けた調査研究や生前意思の管理に係る取組を評価する。市の進める終活支援を通じて、最後まで安心して暮らせる社会の構築と今後増加していく引き取り手のないご遺体の尊厳ある葬儀につながることを期待する。</p>

要望内容	共生社会の推進
<p>主な回答内容</p>	<p>①障がいの有無や国籍の違いなど、本人を取り巻く環境に関わらずだれもが安心して暮らすことができる地域共生社会の実現を目指し、多様なコミュニケーション手段の利用促進を図るため、条例制定に向けた検討を進める。</p> <p>②社会福祉協議会との連携を図ることで引き続き権利擁護支援の充実に取り組んでいく。また市民後見人を養成し、活動を支援することにより新たな後見人としての受け皿を増やしていく。</p> <p>③聴覚障がい者への筆談対応や手話通訳者の配置、また外国人のための通訳職員を常時配置するとともに、通訳職員勉強会による対応力向上、窓口における案内、通知文などの多言語化を図っている。アジア圏については、タブレット端末による遠隔通訳サービスで対応している。</p>
<p>評価</p>	<p>①コミュニケーションの促進を図る条例の制定に向けた具体的検討を進めることを評価する。条例制定を通じて誰もが地域のなかで安心して暮らせる共生社会の充実につながることを期待する。</p>
<p>① - ○ ② - ○ ③ - ○</p>	<p>②市民後見人の養成を通じて受け皿の拡大を図ることを評価する。今後の見守り支援の一層の充実とともに、市民後見人による出前講座などの活動を通じて、成年後見制度の周知や理解の促進につながることが期待する。</p> <p>③窓口のバリアフリーに向け、通訳等の充実に図るなど市民に寄り添った取組を評価する。今後は増加が予想される多国化による多言語の対応や通訳者の有無などに左右されない市窓口全体のバリアフリー体制づくりに期待する。</p>

要望内容	暑さ対策の推進
<p>主な回答内容</p>	<p>①シェアスポットの拡大に努めることで、クールシェアの推進を図っていく。生涯学習出前講座の中で熱中症対策について学べることを明示するほか、介護予防教室などの機会を捉え熱中症対策の啓発を行う。また、シェアスポット以外でも、関連する部署と連携しながら熱中症対策の啓発を行っていく。</p>
<p>評価</p>	<p>①シェアスポットの拡大に向けた取組や、集会施設等でのイベント等を活用した気候変動に関する生活の適応に向けた取組を評価する。今後も関連する部署との連携を図り、一層の気候変動に対する適応策を推進することを期待する。</p>
<p>○</p>	

魅力あるまちづくり

要望内容	都市機能を高める道路整備の推進
主な回答内容	<p>①既存高速道路の有効活用のために、現在、東名高速道路上郷SAスマートインターチェンジの整備や関連市道整備を進めている。また、国道301号、国道419号への接続市道についても、本線に併せ事業者と連携して整備を進めていく。生活道路の歩道未整備箇所については、交通状況を踏まえて、歩行者の安全確保に向けた検討を進めていく。</p> <p>②豊田市ホームページの共通お問い合わせフォームに、道路の危険個所の画像の添付できる機能を付加する。</p>
評価	<p>①主要幹線道路に接続した市道の整備や生活道路における安全対策の推進を評価する。今後は主要幹線道路へのアクセス性向上や歩道未整備箇所の安全対策への着実な取組に期待する。</p>
① - ○	
② - ○	<p>②お問合せフォームにおいて危険個所の画像添付の実現により、迅速で確実な維持管理につながる取組を評価する。今後は、情報戦略課と連携してAIなど先進技術の活用により、更なる迅速化と効率化を図る取組を期待する。</p>

要望内容	保育環境の充実
主な回答内容	<p>①保育業務支援システムの導入に向けて実証実験の結果を踏まえ、令和2年度は、本格導入に向けた課題への対応方法等を整理していく。また、時間外勤務の削減は、事務削減委員会にて取り組んでいるが、具体的な数値目標は、必要に応じて設定していく。</p>
評価	<p>①保育業務支援システム本格導入に向けた取組を評価する。しかし、増加が予想される保育需要への対応には保育師確保が必要であり、保育師の復帰や離職防止を図るために、数値目標を立て保育師の働き方改革につながる抜本的な業務改善に期待する。</p>
△	

要望内容	外国人児童生徒への教育推進
主な回答内容	①外国人児童生徒が増加していく中、「ことばの教室」は外国人児童生徒の編入状況に応じて、移設や増設について検討する。また、研修を充実し教員の力量向上を図るほか、通訳派遣や翻訳対応による保護者支援、アドバイザーによる教員への指導助言を進めていく。
評価	①教員の力量向上と保護者支援等により、日本語教育環境の充実が図られることを評価する。今後は、外国人児童生徒の編入状況に柔軟に対応し、誰一人取り残されることなく日本語教育が受けられる環境が整うことを期待する。
○	

要望内容	中心市街地の活力とにぎわいの創出
主な回答内容	①現況調査を元に、空き店舗の所有者と中心市街地に出店したい商業者とマッチングの方策を検討していく。また、市民が公共的空間を自由使いする「あそべるとよたプロジェクト」の推進や、(一社) T C C Mの活動支援により、まちなかに関わる人を増やして魅力向上につなげていく。 ②11月開催の世界ラリー選手権は、昨年のおもてなし等の経験を生かし、ラリー車走行の地域に加え、中心市街地のにぎわい創出につなげる取組を実施する。まちなかにぎわい創出は「中心市街地活性化基本計画」を着実に推進し、「都心環境計画」の将来イメージのなかで歩行者専用化に向けた実証を公民連携で進めていく。
評価	①市民が自由に公共的空間を活用でき、まちなかに関わる人の創出につなげる取組を評価する。今後は、空き店舗を有効活用するため、物件情報を一元的に公開し、雇用とにぎわい創出につながる取組を期待する。
①－○ ②－△	②世界ラリー選手権の誘致により、中心市街地でもにぎわい創出につなげることを評価するが、更なるまちなかのにぎわい創出には、注目度が高いeスポーツなどのイベント誘致を積極的におこない、新たな魅力や興味を惹く取組が必要である。

要望内容	公園の魅力創出への取組
主な回答内容	①鞍ヶ池公園でアンケート調査やキャンプ実証により、市民意見の反映や指定管理制度などによる民間活力を導入し、魅力向上と維持管理費の低減を行う。矢作川水辺空間においても、都心及び中央公園と連携したにぎわいの創出と更なる利活用促進に取り組んでいく。
評価	①公募による指定管理者制度での民間活力導入を評価する。今後は、都市公園の新たな空間づかいとして魅力を高め、来場者の増加と市民サービス向上につなげていくことが必要であり、また本取組を検証し、他の公園施設へ拡大することを期待する。
○	

持続可能なまちづくり

要望内容	産業の活性化を支える取組
主な回答内容	①既存の大規模工場や工業団地が立地する地域について、生産活動の継続・拡大を図るため、必要に応じた用途地域の変更等、土地利用規制の見直しにより工業地としての機能強化を図る。
評価	①産業の発展を支える土地利用の見直しを図ることで、現有地を効果的に活用し、地域企業の拡大や転出防止、また新たな企業誘致につながる取組として評価する。今後は隣接する地域住民への影響を勘案し、効率的な土地利用が進むことに期待する。
○	

要望内容	中小企業における人材育成の支援
主な回答内容	①「ものづくりミライ塾」と「製造技術者育成プログラム」の人材育成を継続するとともに新たにAIなど先進技術を活用した講座を行う。また、「中小企業支援ネットワーク会議」を立ち上げ市内中小企業支援を強化する。更に、SENTAN等施設での展示や見せる化プロジェクトなど情報発信を強化する。
評価	①SENTAN等での施設内展示や情報発信強化による、本施設の活用促進に向けた取組を評価する。今後はAI、IoTといった先進技術を活用しながら中核となる技術者の育成を継続強化するとともに、ものづくりへの切れ目ない支援がおこなわれることを期待する。
○	

要望内容	定住促進に向けた取組
<p>主な回答内容</p>	<p>①業務代行方式による民間活力導入の実現に向けた取組を積極的に進めている。本年4月より「市街地調整区域内地区計画運用指針」を見直し運用を進めている。大規模既存集落型については、基準等の見直しは考えていないが土地利用方針等を踏まえ、メリハリのある市街地形成を目指して宅地供給を推進する。</p> <p>②旭地区の「つくラッセル」では、テレワークの運用で4名の地域の雇用につながった。また、令和元年度にサテライトオフィスの可能性調査を実施しており調査結果やつくラッセルの取組を踏まえ、テレワーク・サテライトオフィスを含め新たな雇用創出の手法を検討していく。</p>
<p>評価</p> <p>① - ○</p> <p>② - ○</p>	<p>①業務代行方式による民間活力導入の積極的な宅地供給の取組を評価する。今後も、見直した「市街地調整区域内地区計画運用指針」など様々な計画を適正に運用するとともに、市民の宅地ニーズに対し、機を逸することなく的確にとらえ見直しを行うことを期待する。</p> <p>②これまでの取組を検証し、新たな雇用創出につながる検討をおこなっていることを評価する。今後は雇用環境だけでなくインセンティブなどで雇用創出を促し、コミュニティの存続につながる施策に期待する。</p>

要望内容	ラグビーワールドカップ 2019 レガシーの継承
<p>主な回答内容</p>	<p>①市民活動センター等が連携して活動のすそ野を広げるために、文化ボランティアは、とよた市民アートプロジェクトを受け皿として人材を発掘・育成、活躍の場を提供する。スポーツボランティアは、スポーツボランティア事務局の新設など、引き続き活躍できる仕組みを検討していく。</p>
<p>評価</p> <p>○</p>	<p>①ボランティア活動の輪が広がるよう、ラグビーワールドカップ2019™大会終了後も引き続き活躍できる取組を評価する。今後は各ボランティア団体の連携が図られることによる相乗効果とともに、市民の主体的な活動へと広がり、大会のレガシーとして受け継がれていくことを期待する。</p>

要望内容	市民サービスの利便性向上
主な回答内容	①令和2年度から、コンビニ用納付書のバーコードをスマートフォン専用のアプリで読み取り決済できるサービスを導入予定であり、この仕組みで市税・介護保険料などの支払いにおいてキャッシュレス決済が可能となる。
評価	②市税が簡単に納付できるキャッシュレス決済を導入し市民サービスの向上につながる取組を評価する。今後は水道料金や施設使用料などのキャッシュレス化を進め更なる市民サービス向上への取組に期待する。
○	

要望内容	未来都市の実現に向けた改革の推進
主な回答内容	①「豊田市つながる社会実証推進協議会」による実証事業を通じ、豊田市の地域課題の解決を図っていく。また国が掲げる「スーパーシティ構想」について強い関心を持って注視し「未来都市とよたビジョン」の実現に向け、実証・実装の取組を加速化し地域課題解決を促進していく。 ②令和2年度から新たに専門部署を設置し、庁内業務への新技術AI、RPA、IoT等の活用推進や5G、オープンデータ等、戦略的な活用検討を進めていく。
評価	①最先端技術の実証事業を通じた本市の課題解決の取組に加え、国の動向に注視し実証・実装に向け取組んでいくことを評価する。今後も国の動向を注視しつつ、本市が実証地域に選定をされるよう積極的なトップセールスを行うことを期待する。
①－○	
②－○	②ソサイティ5.0時代を見据え、新技術の活用によるスマート自治体に向けた専門組織の早期対応を評価する。今後は新技術に長けた人材の獲得、配置により積極的な業務の効率化を進め、市民サービスの向上が図られることに期待する。

要望内容	SDGs未来都市の確立
主な回答内容	①「豊田市つながる社会実証推進協議会」と「おいでん・さんそんセンター」を通じ、SDGs達成に向けた取組を展開していく。また「とよたSDGsパートナー」の登録団体・企業等と連携を図り、市民の認知度向上に向け、各種講座やイベント等の実施による浸透・普及啓発をすすめていく。
評価	①豊田市が一体的にSDGsを推進するため、影響と波及効果が高い組織を通じ効果的に拡大していることを評価する。今後はあらゆる場面・ツールを通して市民の認知を高め、一人ひとりが行動に移すことができる風土の醸成につながることを期待する。
○	

要望内容	効率的なエネルギーの活用
主な回答内容	①住宅用再生可能エネルギーの効率的利用に向け、蓄電池や電動車の普及とHEMSによるエネルギーマネジメントの推進のため、補助制度の継続と啓発を行っていく。また公共施設へ供給する「SDGsとよた再エネチャレンジ」やVPPなどの知見を活かし、一体的なエネルギーマネジメントについて検討していく。
評価	①再生可能エネルギーの効率的な活用に向けた機器の普及・推進を評価する。今後の2050年CO2排出量実質ゼロに向けては、市全体でのエネルギーマネジメントの確立が不可欠であるため、システムの確立に向けた取組に期待する。
○	

要望内容	水素社会の推進
主な回答内容	①令和2年中に3ヶ所目の新たな水素ステーションが建設される予定である。また、とよたエコフルタウンでは、水素社会の実現に向け製造工程の見学など引き続き実施していく。なお、令和元年度には、燃料電池バスを4台導入し路線バスや公用利用として活用するなど、市民が水素エネルギーと関わる機会を提供していく。
評価	①水素社会の実現に向けたインフラ整備や理解促進、またくらしの一部として燃料電池バスの活用を評価するが、さらに市民に近いエネルギーとなるよう、シェアリングなどすべての市保有の燃料電池車を最大限活用した取組にも期待する。
△	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



豊田市は、持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体(SDGs未来都市)として内閣府から選定されました。2030年のあるべき姿をイメージして、各施策や取組においてSDGsの視点を取り入れながら、様々な自立とつながりをもって、エネルギー、モビリティ、ウェルネスが時代の変化に適応し、市民生活の質の向上が継続していくまちづくりを進めていきます。

豊田市議会市民フォーラム会派



【代 表】古木吉昭 【幹事長】中村孝浩 【政策審議会長】日當浩介
 作元志津夫 塩谷雅樹 吉野英国 鈴木孝英 中尾俊和 倉山和之 山本義勝

